



「人は霊」を知らないと本物の愛と奉仕は出来ない

「靈魂はある」と言ったら、残念なことに心ある人々は顔をそむけ頭からバカにしてしまうのです。全部ではないが、むしろ良識のある人の方がそうなんです。実は私もそうだったから言うのですが。若いころ渋谷の大盛堂で「心霊と人生」誌を見た時、「靈魂は存在する。科学的に証明できる」と書いてあるから、もう怒って本をポーンとたたきつけて、こんな迷信が雑誌に書いてあるとカンカンに怒ってしまったのです。靈魂はあるということを言うのと逆作用を起こしてしまう真面目な人がいるんですよ。だからウツカリ言えない。だけでもそういう人も霊があるってことを認めないと本物になれない。そこが難しいところなんです。その難しいところを私たちはやりながら、だんだんと愛と奉仕生活が

私たちを救う唯一つの真理なんだ、宇宙法則なんだということで、みんなをひっぱっていこうとしています。そして愛と奉仕が宇宙法則だということを知って本当に実践できるためには、我々は霊だということを知らないと、金輪際本物の愛と奉仕の生活はできないのです。どんな偉そうな人がいたって、自分が霊だということを知らないと、自分が物質だ肉体だと思っていると、どこかで未練や計算が顔を出して、本物の愛の人には金輪際ならないのです。

だから地球を救う決め手は、人は霊である、永遠不滅の存在であるalmaz（「まず」ですよ）知らないとしてもダメです。その大使命をおびているのが心霊研究なのです。というのは、科学的学問的に証明しないことには、今の人、それも心ある人は決して認めないです。幸いなことに科学が発達して科学ならばみんなが信用するということになった

ので、その科学を逆手にとって、科学によって靈魂の存在を証明したのが心靈研究なのです。これによって心ある人がそれまでは迷信であつた靈の存在を認めるようになったのです。